



表郷中学校区研究推進協議会実施！

12月9日(月)5校時、1年1組において、国語科の授業研究会がありました。

この授業研究会は校内だけでなく、表郷地区の中学校、小学校、幼稚園、保育園の総勢40名を超える先生方が一堂に会してどのような学びを行っているか協議される研究会で、今年度は中学校が会場となり、一つの教室に生徒・教員が合わせて60名を超える大規模なものとなりました。

本校国語科の丹内先生が「書くこと」に関する授業を行い、生徒たちは、自分たちの考えをしっかりと出し合って主体的に取り組んでいました。



電子黒板を使って行う授業

今回の授業は、絵本に関する書評を生徒一人一人が書いたものをお互いに読み合い、互いに改善点を助言し合う授業でした。「うれしい」「楽しい」など大雑把な言葉を、さらに詳しく言い換えることにより具体的な意見が表せるようにする授業で、タブレットを用いて学級内で意見交換する様子が見られる授業となりました。

生徒たちは小学校時代の先生方の顔を見つけ、照れながらもしっかりと自分の考えを述べ合う様子が見られる授業でした。グループで話し合う場面でも、それぞれの考えを共有したり改めたりしながらまとめ、その後、発表しました。



大切なことをノートにまとめます

生徒の考えを大切にしたい授業は、生徒が主体的に学習する上で必要です。今後も続けていきたいと思います。



多くの先生たちが参観



ペア学習での意見発表



グループ学習の様子

ビャッコイ沼、ボランティア清掃

12月7日(土)ビャッコイ沼のボランティア清掃を実施しました。表郷ボランティアネットワークの皆様が中心となる行う清掃に、毎年、本校の生徒が参加しています。例年、12月27日のビャッコイが福島県の天然記念物に指定された日の「ビャッコイの日」に行っておりましたが、昨年度から12月の第一もしくは第二土曜日に行くことになりました。

当日は1・2年生を参加対象としました。生徒(60名)と先生方で作業を行い、1時間程度で沼周辺がきれいになりました。

NHK朝ドラの主人公のモデルである牧野富太郎博士が命名したビャッコイです。発見した少年たちと同じ年齢の中学生たちが清掃している姿は感動的でした。そして、その姿が「素晴らしい！」と感じた日でした。



きれいになりました



みんなで落ち葉集め!



← 集めた落ち葉をがんばって運びます

合格祈願米、贈呈式



合格祈願米贈呈式

12月4日(水)、JA東西しらかわの代表理事組合長様他3名が来校し、3年生全員に「合格祈願米」を贈呈していただきました。3年生の高校入試に向けて、実際に全員合格を祈願してきた米を一人一人にいただきました。代表で、田子絢都さん、荒川蘭さん、和知旺希さん、和知加倫さんの4名が受け取りました。米と一緒に温かい心遣いも受け取りました。その様子はNHKでテレビ放映されました。生徒の皆さんには、地域の皆様からこのよう思われていることを感謝し、家族や多くの

人たちが祈ってくれていることを改めて心に留めてほしいと思います。保護者の皆様におかれましては、入試当日のお弁当には、是非、この合格祈願米を使っていただけたら幸いです。